

01 はじめに

このパンフレットを手にとっていただきありがとうございます。

パンフレットを手にしてくださっている皆さんは、将来の進路の一つとして国家総合職を考えていらっしゃると思います。皆さんの悩みや、不安な気持ちに少しでも寄り添えるように、私たちがどのように筆記試験や官庁訪問に臨んだのか振り返り、作成しました。ぜひ参考にさせていただき、就職活動の一助となれば幸いです。

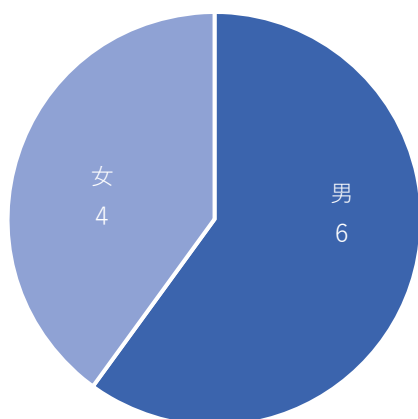
最後に、皆さんの就職活動が学びの多い充実したものとなり、納得のいく選択ができることをお祈りしております。

目次

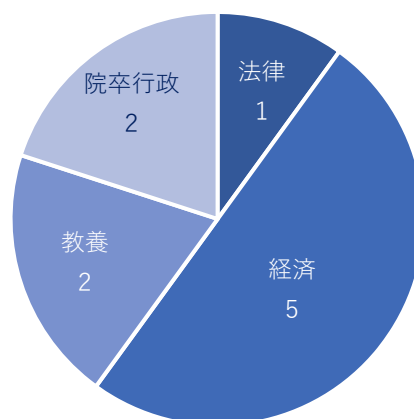
01	はじめに	p.1
02	内定者データ編	p.2
03	試験対策編	p.23
(1)	全体戦略 ～就活編～	
(2)	全体戦略 ～試験対策編～	
(3)	区分別試験対策	
	基礎能力試験	
	大卒法律区分	
	大卒経済区分	
	大卒教養区分	
	院卒行政区分	
(4)	独学 vs 予備校	
04	官庁訪問対策編	p.31
(1)	官庁訪問とは	
(2)	面接対策	
(3)	Q&A	
05	最後に	p.37

02 内定者データ編

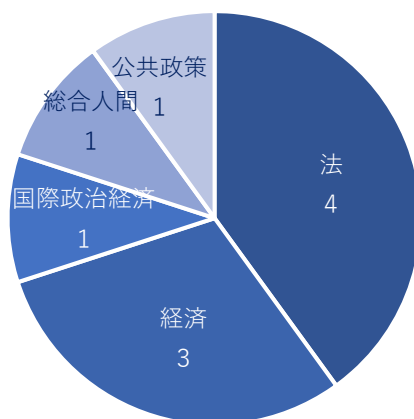
男女比



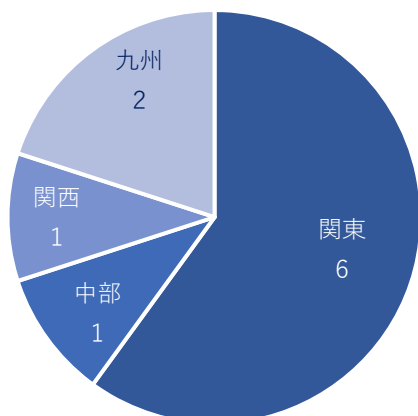
受験区分比



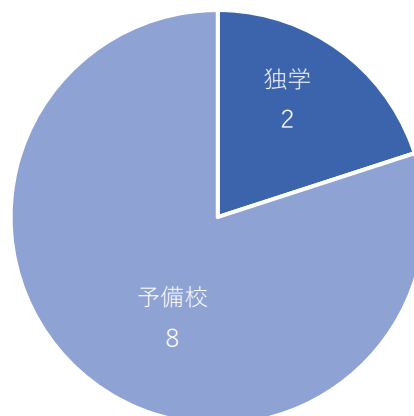
出身学部比



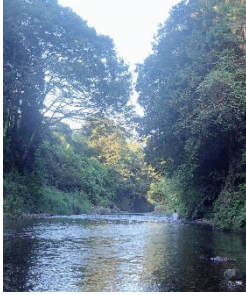
出身地



勉強方法



PROFILE 1



【性別】 男
【年齢】 22歳
【出身】 神奈川県
【大学】 学習院大学
【学部】 経済学部
【ゼミ】 財務会計
【趣味】 旅行・ラジオ
【併願状況】
・ 財務専門官
・ 国家一般職
【試験区分】 大卒・経済
【説明会の参加回数】 6回

自己アピール

私の強みは率先して課題を見つけ、他人と協力して改善に取り組むことができる点です。学生連盟やアルバイトなど様々な活動の中で課題を見つけ積極的に改善策の提案を行いました。こうした経験から広く視野を持つことができるようになったと感じています。

学生時代の過ごし方

ラケットボール同好会というサークルに所属していました。マイナースポーツなので競技人口は多くないですが、大会にも出場していました。また、学生連盟で大会の企画や運営を行っていました。大会運営は思い通りにいかないこともありましたが、様々な経験ができました。

座右の銘

信頼第一

人事からのひとこと

- ・ プレッシャーのかかる場面でも物怖じせず、冷静に振る舞うことができていました。
- ・ 官庁訪問の中で国家公務員、財務省財務局の志望動機をより明確化し、成長していく姿が見られました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

コロナの影響で多くの人が苦しんでいる中で、自分の無力さを強く感じたことをきっかけに、社会の危機の解決に貢献したいと思い国家公務員を志望しました。

なぜ財務局をえらびましたか

財政と金融の2つの側面で経済の活性化に貢献できる点に魅力を感じました。幅広いキャリアパスも財務局を志望した理由の1つです。

就活の振り返り

① 成功談

公務員に絞って就活をやり切ったことです。もちろん民間企業の選考を受けることも考えましたが、そうしていたらこの結果にはなっていなかったと思うので、私の場合は絞ってよかったです。

② 失敗談

もう少し早く就職活動に取り組むべきでした。時間があれば直前期が楽になったと思いますし、他の公務員の試験種や民間企業など視野広く進路を考えることができたと思います。

年間スケジュール

(3年) 4月		12月	面接対策開始
5月		1月	財務局説明会
6月		2月	時事対策開始
7月		3月	
8月	勉強開始	(4年) 4月	一次試験
9月		5月	二次試験
10月		6月	模擬面接
11月	説明会開始	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

就職活動は本当に大変だと思いますが、その中で自分自身と向き合うことは怠らないでほしいと思います。勉強や自己分析だけでなく、面接にも言えることです。公務員への熱意やこれまでの経験を要領よく伝えることも当然大事ですが、官庁訪問では自分の意見や考えを伝えることが重要だと感じました。自分自身としっかり向き合い、「なぜそう考えるのか」を明確にして相手に自信をもって自分の意見や考えを伝えてみてください。財務局は出身大学や専攻にかかわらず、そうした部分を評価してくれると思います。

PROFILE 2



【性別】 女
【年齢】 23歳
【出身】 千葉県
【大学】 青山学院大学
【学部】 国際政治経済学部
【ゼミ】 環境経済学
【趣味】 バスケット・旅行
【併願状況】
・ 東京都庁
・ 国家一般職
【試験区分】 大卒・経済
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

私の強みは「新しいことでも失敗を恐れず柔軟に取り組めるところ」だと考えています。大学2年次には、インドでの農村開発インターンに参加し、日本とは言語も文化も異なる人々と生活する中で、日本ではできない刺激的な体験をすることができました。

学生時代の過ごし方

朝の6時からお昼までカフェでアルバイト、午後から2コマ授業、終わり次第所属する二部体育会バスケットボール部の活動、と忙しい日々を過ごしていました。一方で、高校や大学の同期と旅行にも行ったりと遊びにも全力で取り組んでいました。

座右の銘

苦しい時が上り坂

人事からのひとこと

- ・ 明るく朗らかなキャラクターで、職員や他の学生とのやり取りからも、コミュニケーション能力の高さが伺えました。
- ・ 面接にも自然体で臨み、自分の言葉で意見を述べることができていました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

国内外問わず様々な問題が生じている現代において、民間企業で国が作った枠組みの中で働くより、人々の豊かな生活を支える枠組み作りに携わりたいと考え、公務員を選びました。

なぜ財務局をえらびましたか

両親が地方出身だったため地方創生に興味がありました。霞が関での政策立案の現場と、地方の財務局での政策実行の現場の両方を経験でき、地方創生に大きな役割を担っている点に魅力を感じたため、財務局総合職を選びました。

就活の振り返り

① 成功談

筆記試験でも、人事院面接・官庁訪問でも、適度に緊張しつつも「もう後は準備してきたことをやるしかない」と開き直れたこと、そしてチャンスが巡ってきたときにそのチャンスをしっかり掴みに行けたことです。

② 失敗談

民間をメインで見えていた時に公務員試験の勉強にほとんど手を付けられなかったことです。また、早い段階で志望官庁を絞りすぎてしまいました。財務局の説明会に1回も参加したことがなかったため、官庁訪問中は不安でいっぱいでした。

年間スケジュール

(3年) 4月	勉強開始	12月	公務員に絞る
5月	数的、憲法	1月	専門科目
6月	経済原論	2月	記述対策
7月	経済・民法	3月	ES面接対策
8月	民間メイン	(4年) 4月	筆記対策
9月	〃	5月	人事院面接
10月	〃	6月	官庁訪問準備
11月	〃	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

様々な選択肢がある中で、より良く、納得できる選択をするには正確な情報と自己分析が必要不可欠だと思います。そのため、説明会に積極的に参加して話を聞くことや、過去を振り返ること、そして将来を考え続けることが大切だと思います。その中で、財務局総合職に興味を持っていただけたら嬉しいです。

うまくいくことばかりではないかもしれませんが、みなさんが後悔なく就職活動を終わられることを心から願っております。

PROFILE 3



【性別】 男
【年齢】 24歳
【出身】 茨城県
【大学】 京都大学
【学部】 総合人間学部
【ゼミ】 文化人類学

【趣味】
バックパック旅・シーシャ

【併願状況】

なし

【試験区分】 大卒・経済

【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

長期留学の経験はありませんが、累計32カ国の海外経験があります。いろいろなことに挑戦するのが好きで、2回生の頃にはダイビングのアドバンスライセンスをエジプトで取得しました。

学生時代の過ごし方

学期期間中は学生ボランティア英語ガイド団体に所属し、海外からの観光客を京都で案内する活動をしていました。長期休暇は、毎回海外に行き、アフリカ縦断やエジプトでのアラビア語留学等経験しました。

座右の銘

努力しても必ずしも成功するとは限らない。しかし成功するものは必ず努力している。

人事からのひとこと

- ・ 学生時代の経験はどれもオリジナリティに溢れていて、非常に魅力的でした。また、本人からはこうした経験に基づく人間性の深さを感じました。
- ・ 面接では、的確な質問で職員の話の内容を掘り下げることができていました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

海外を旅する上で、世界における日本のプレゼンスの低下を感じました。そこで国内外の諸要素を勘案し、我が国の将来に資するような人材になりたいと考え、公務員を志望しました。

なぜ財務局をえらびましたか

霞ヶ関と地方をつなぐ役割を担う財務局においてこそ、地方の声を反映した政策を実行できると考え、財務局を志望しました。

就活の振り返り

① 成功談

私は新聞を読むのを日課にしていたので、あまり自分が詳しくないと思う政策についての話になっても、自分なりの考えや疑問点を提示することができ、それが評価につながった一因ではないかと考えています。

② 失敗談

緊張のせいで、官庁訪問前日にしっかりと熟睡できないことがあり、少し睡眠不足だと、官庁訪問中のお昼後の眠気がひどい時がありました。大きなテーマについて聞かれたときに、当惑してしまい、MECEを意識できずに、瑣末なことについて語ってしまいました。

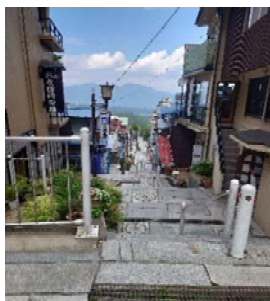
年間スケジュール

(3年) 4月		12月	経済区分勉強開始
5月	民間就活開始	1月	
6月		2月	
7月	民間のインターン面接	3月	
8月	民間のインターン	(4年) 4月	1次試験
9月	//	5月	2次試験
10月	教養区分勉強開始 & 一次不合格	6月	試験合格 官庁訪問
11月	国家公務員に志望を絞る	7月	官庁訪問&内々定

財務局を受ける方へメッセージ

内定者パンフレットを手にとっていただいている方へ。あなたは非常に緊張や不安でいっぱいだと思います。緊張しないでくださいというのは非常に無責任だと思いますが、不安でいっぱいになった時には、ぜひ紙に書き出して可視化してみてください。頭の中だけで考えていると自分にとってよくないことに囚われてしまうことが多いからです。自分の不安点などを解消できた上で、財務局に関心があると再認識できた方は、ぜひ官庁訪問にて、財務局を訪れてください。色々な出会いがあるので、「やっぱり違うな」と思ったとしても、貴重な財産を得ることができると思います。長い戦いではありますが、健康と体調にはぜひ気をつけて、走り切ってください。

PROFILE 4



【性別】 男
【年齢】 23歳
【出身】 東京都
【大学】 横浜国立大学
【学部】 経済学部
【ゼミ】 財政社会学
【趣味】 旅行・ピアノ・将棋
【併願状況】
・ 県庁行政職
・ 国家一般職
【試験区分】 大卒・経済
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

自分でやりたいと決めたことに向けて、一途に努力を続けられることが最大の強みです。公務員を目指す決めた際には、苦手だった英語を克服し、自分がこれまで学んできたことを明確に説明できるようにするなど、全力を尽くすことができました。

学生時代の過ごし方

学業においては財政社会学をゼミで専攻し、日本の抱える財政的課題や、税や給付の構造に関して輪読を通じて議論し、意見を深めました。

課外ではサークルで新しく将棋に挑戦したり、国内を鉄道や自動車で観光して回ったり、やってみたいことを積極的にして過ごしました。

座右の銘

背水の陣

人事からのひとこと

- ・ 経済・財政についてしっかりと勉強してきたようで、学生時代の専攻分野について質問された際も、理論をもって分かりやすく説明できていました。
- ・ 職員の話に熱心に耳を傾ける様子から、素直さや真面目さが感じられました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

大学のゼミで財政的課題の面から日本のあるべき姿について議論を進める中で、自分も日本全体をよりよくするために働いていきたい、日本の経済にアプローチしていく仕事に就きたいと考えるようになり、国家公務員を選びました。

なぜ財務局をえらびましたか

財務局は財務省での業務に加えて、より現場に近い財務局でも経験を積めるため、国と地方の両方の視点を身に着けることで両者を双方向につなぐことができる点に、大きな魅力を感じました。

就活の振り返り

① 成功談

対策をしっかり行ったため試験を受けたときも好感触だったので、合格発表を待つ間も自信をもって面接対策に臨むことができたことが、現在の状況につながったと思います。

② 失敗談

対面で人と会う機会や気軽に外出できる機会がほとんどなかったため、就活に関する情報を幅広く集めることができず、失敗した時のリスクが大きくなってしまいました。

年間スケジュール

(3年) 4月		12月	
5月		1月	
6月		2月	選択科目開始
7月		3月	記述と並行
8月	必須科目開始	(4年) 4月	択一追い込み
9月		5月	面接対策開始
10月	TOEIC	6月	
11月		7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

本パンフレットを手にとって下さり、ありがとうございます。どのような仕事をしたいか具体的に決めている人も決まっていない人も、なるべく沢山の情報を集めるよう心がけるのが良いと思います。その上で、志望先が本当に自分にあっていそうかどうか、全力で検討してみてください。

また、官庁訪問では是非自信をもって自分を伝え、そして普段は話せない先輩職員との会話を楽しんでください。応援しています！

PROFILE 5



【性別】 男
【年齢】 26歳
【出身】 福岡県
【大学】 名古屋大学
【学部】 法学部
【ゼミ】 民法・民訴法
【趣味】 音楽鑑賞・ゲーム
【併願状況】
・ 司法試験
・ 民間就職（企業の法務部）
【試験区分】 院卒・行政
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

ロースクール出身であり、論理的思考や法律を読み解く素養があります。

また、サークル活動やアルバイトを通して他者と協調して何かを作り上げる面白さを知り、コミュニケーション能力の向上に努めました。

学生時代の過ごし方

大学時代にはマンドリンオーケストラに所属し、日々練習に明け暮れていました。

大学4年時からロースクールを志望するようになり、その後は司法試験に向けて勉強をしていました。

座右の銘

和而不同

人事からのひとこと

- ・ クールで落ち着きがある反面、話していくと親しみやすさがあり、いい意味でギャップがありました。
- ・ 頭の回転が速く、質問に対して素早く論理的に回答することができていました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

司法試験への勉強を通じて、社会で生じる様々な事象に関わり、解決していくためには法曹以外の方がよいと考え、公務員を志望するようになりました。

なぜ財務局をえらびましたか

別の省庁の官庁訪問において、財務局を紹介していただいたのがきっかけです。その後お話を聞いていくうち、地方と深く関わることができる点に魅力を感じ志望するに至りました。

就活の振り返り

① 成功談

司法試験後というイレギュラーな時期に始めましたが、登録したエージェントや友人に話を聞き自分の長所・短所ややりたいことをブラッシュアップしたことで、面接等もうまくいくことが多かったです。

② 失敗談

時期的な問題もあり多くの企業を受けることができず、比較検討することができなかったことで選択肢が少なくなりました。

年間スケジュール

(院卒) 4月	司法試験勉強	12月	
5月		1月	司法試験不合格
6月		2月	
7月	教養対策	3月	
8月	総合職合格	4月	
9月		5月	司法試験 (2回目)
10月		6月	就活開始
11月		7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

財務局には様々な経緯で来た人が多いと思います。僕自身当初は全く知らない状態で官庁訪問に臨みました。

財務局には本当に多様なバックグラウンドの方がおり、聞いたことは丁寧に回答していただけます。なんでも臆せず質問してみてください。

まずは、自分自身のことを見つめなおし、志望動機や自身のやりたいことを検討することが一番大事ではないかなと考えます。

頑張ってください。

PROFILE 6



【性別】 男
【年齢】 23歳
【出身】 福岡県
【大学】 九州大学
【学部】 法学部
【ゼミ】 行政法
【趣味】 旅行・洋画鑑賞
【併願状況】
・ 法科大学院
【試験区分】 大卒・教養
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

組織に最大限の貢献ができるよう尽力することが私の強みです。部活動・アルバイトなど多種多様な人間と協力する中で培ってきました。自他の特徴を踏まえた上で、組織の強化・発展に向けて自身が果たすべき役割を見出し、邁進することを心がけています。

学生時代の過ごし方

中高時代とは異なる新たなスポーツを始めました。部活動として週4日の練習に取り組み、技術の向上を図りました。

離島や山間部などに友人と行った国内旅行が印象に残っています。都市部で楽しく過ごすのも良いですが、日本の新たな一面を発見できる「田舎旅行」もおすすめです。

座右の銘

寛容と忍耐

人事からのひとこと

- ・ 国家公務員として働きたいという思いが人一倍強く、面接の際の受け答えからも熱意が伝わってきました。
- ・ 職員からの指摘を真摯に受け止め、精一杯対応しようとする姿から、吸収力、柔軟性の高さを感じました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

特定の人々だけではなく、広く国民を相手とした仕事ができると考え、公務員を志望していました。また、国全体をよりよくしていくための一翼を担えるところが、大きな仕事をしてみたいという私自身の夢と合っていたのではないかと考えます。

なぜ財務局をえらびましたか

「希望ある社会を次世代に引き継ぐ」という財務省の理念に共感していました。国と地方をつなぎ、国民のリアルな声を汲み取ろうとする働き方に憧れを抱きました。官庁訪問でお会いした方々のような社会人になりたいと感じたことも、理由の一つです。

就活の振り返り

① 成功談

国家総合職の試験に教養区分で合格できたことです。志望省庁対策にじっくりと時間を割くことができました。

② 失敗談

周囲に国家総合職志望の学生がおらず、政策などについて議論できていなかった点が悔やまれます。民間就活に腰を据えて取り組み、自分自身の意見をまとめたり視野を広げたりする練習をしておけばよかったです。

年間スケジュール

(3年) 4月	勉強開始	12月	
5月		1月	法律学習
6月		2月	//
7月		3月	インターン
8月		(4年) 4月	法律学習
9月		5月	司法予備試験
10月	法律学習	6月	官庁訪問対策
11月	ロー入試	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

職業選択にあたって、「誰とするか」は「何をするか」と等しく重要であると思います。官民間問わずできるだけ多くの説明会等に参加し、職場の雰囲気や採用担当の人柄を見て、自分に合った職場を探してください。どういった大人になりたいのか、自分自身と向き合い、未来の自分の理想像と重なるような社会人を見つけられると良いと思います。結果として、財務局を選んでいただけるのであれば幸いです。皆様とお会いできる日を楽しみにしています！

PROFILE 7



【性別】 女
【年齢】 22歳
【出身】 神奈川県
【大学】 上智大学
【学部】 経済学部
【ゼミ】 企業会計
【趣味】 テニス
【併願状況】
・ 国家一般職
・ 国税専門官
【試験区分】 大卒・経済
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

私の強みは部活やサークルで培った継続力や忍耐力、大学生活を通して磨くことができた自主性だと考えます。これらを更に磨き、多くの利害関係者との対応や組織のマネジメントを行う総合職として、幅広い分野に携わる中で、多くを吸収していきたいと考えます。

学生時代の過ごし方

サークル活動にアルバイト、大学の講義と学生らしい生活を送っていました。

特別な経験をしたということはありませんでしたが、積極的な行動を続けた結果、「様々な人に会う」ことができ、とても充実していたと感じます。

座右の銘

千載一遇

人事からのひとこと

- ・ 面接では、質問に対して自分なりに導き出した答えを、丁寧に説明することができていました。
- ・ 積極的に職員に対して質問する姿勢から、興味・関心の幅広さや意欲の高さが感じられました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

私が公務員を志望した理由は、特定の人のみでなく、社会全体の人々のために働くことができると考えたからです。その中でも政策の企画・立案や組織のマネジメントに取り組むことができる点に魅力を感じ、総合職を選びました。

なぜ財務局をえらびましたか

国の財政に携わりたいと考え官庁訪問をする中で、声をかけていただいたことがきっかけで財務局を官庁訪問しました。

中央のみでなく地域に目を向ける点や、政策を理想で完結せずに実行可能性を高めていくことができるなど、知れば知るほど財務局に魅力を感じ志望しました。

就活の振り返り

① 成功談

予備校の講座は、一般職コースでしたが、基礎からしっかりと幅広く勉強することで、総合職試験に合格することができました。そして、何よりの成功は、チャンスを逃さず、しっかり掴んでいくことができた点です。声をかけていただいた財務局の官庁訪問という大きな機会を受かるはずがない、などと諦めることなく挑戦したことで内定をいただくことができました。

② 失敗談

公務員を志望することを決めたものの、志望官庁を絞りすぎたことで、説明会も偏り過ぎてしまったことです。志望の系統を決めるにしても、それにつながる仕事にも目を向けて、「自分が興味ある分野、仕事の可能性を広げる」ための情報収集を積極的に行うべきでした。

年間スケジュール

(3年) 4月		12月	
5月		1月	
6月		2月	記述勉強開始
7月		3月	
8月	講座申し込み	(4年) 4月	1次試験
9月	受講開始	5月	試験ラッシュ
10月	択一勉強開始	6月	面接対策
11月		7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

ここまで読んでいただきありがとうございます。公務員を志望している方は、試験勉強が十分にできているか、筆記試験に合格しているか、面接が上手くいくか、官庁訪問で内々定をもらえるかなどなど、不安になる機会がたくさんあると思います。まずはこの不安を1人で抱え込まずに、家族や友人を積極的にまきこみましょう。厳しいけれど、的確な指摘をしてくれるはずです。そして、元気が一番です。大きな声で、ニコニコと。それが私の合格の秘訣です。

PROFILE 8



【性別】 女
【年齢】 25歳
【出身】 京都府
【大学】 東北大学
【学部】 公共政策大学院
【ゼミ】 国際関係
【趣味】 スポーツ観戦・読書
【併願状況】
・ 民間企業
【試験区分】 院卒・行政
【説明会の参加回数】 1回

自己アピール

相手の気持ちを理解し寄り添うこと、チームワークを高めることを大切にしてきました。そうした心がけによって、周囲との信頼関係を築いていると感じています。

学生時代の過ごし方

大学の交響楽団に所属していました。練習時間も長く、パートをまとめることに苦労することもありましたが、どうすれば良い演奏につながるか模索していた日々は非常に充実した学生生活だったと感じます。

座右の銘

継続は力なり

人事からのひとこと

- ・ 落ち着いた雰囲気や凛とした佇まいから、聡明さが感じられました。
- ・ 質問に対する回答や意見が的確で、物事の本質をきちんと理解したうえで職員と議論することができていました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

人々の安心な暮らしの基盤を支える仕事に携わりたいと考えていました。様々な社会課題に向き合い、政策や制度を通じて対応策を考えることができる国家公務員を志望しました。

なぜ財務局をえらびましたか

財政や金融の政策を通じて課題解決に貢献できる業務に興味を持ち、入局を志望しました。また、国の政策立案と地域財政の現場の双方の視点を持つことができ、幅広いキャリアパスがある点も魅力的だと思いました。

就活の振り返り

① 成功談

民間企業の説明会やインターンにも参加したことで、より公務員の志望動機などについて深めることができたと思っています。また、友人とESや面接について相談できたことは、就活を通して非常に支えになりました。

② 失敗談

自己分析を十分にできていなかったことです。本格的に就職活動を始めるとあまり時間が確保できないと思うので、自分の将来については早めから検討しておくことをお勧めします。

年間スケジュール

(M1) 4月	教養科目勉強	12月	民間インターン
5月	〃	1月	〃
6月	〃	2月	就活・筆記勉強
7月	専門科目勉強	3月	〃
8月	〃	(M2) 4月	一次試験
9月	〃	5月	二次（筆記）
10月	説明会参加	6月	二次（面接）
11月	〃	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

就職活動では辛く苦しい思いをすることもあります。前向きに将来働いている自分をイメージしながら頑張ってください。自分に向き合う時間は貴重なので、人生の選択についてじっくり考え、納得のいく就活をしてほしいと思います。

ぜひ広い視野を持ちながら様々な業種の方からお話を聞いてみてください。その中で、財務省財務局に興味を持って頂いたとしたら、財務局に対する想いを官庁訪問で伝えてください。自分に自信をもって、最終的に選んだ道に胸を張れるように頑張ってください！

PROFILE 9



【性別】 女
【年齢】 22歳
【出身】 静岡県
【大学】 中央大学
【学部】 法学部
【ゼミ】 行政法
【趣味】 旅行・テニス
【併願状況】
・ 参議院事務局
・ 国家一般職
【試験区分】 大卒・法律
【説明会の参加回数】 1回

自己アピール

私の強みは「自らが体験・挑戦しやり抜く行動力」です。学生の中に様々な経験をしたと考え、期間を決めて3つのアルバイト（福祉・飲食・接客）をしました。勉強面では目標を立て、行政書士やなどの資格を取得しました。幅広い経験・知識を通じ、多角的なものの見方が身についたと感じています。

学生時代の過ごし方

学問にアルバイト、趣味と多くのことに興味を持ち、取り組みました。コロナ前には国内外の観光地・世界遺産を訪問し、一人旅で英国にも行きました。4年間、全方向全力で取り組み充実した学生生活でした。

座右の銘

初志貫徹

人事からのひとこと

- ・ 自身の経験に基づいた志望動機がシンプルで分かりやすく、国家公務員になりたい理由が明確に伝わってきました。
- ・ 笑顔でハキハキとした受け答えが好印象で、コミュニケーション能力の高さを感じました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

法律を学び、ルールの中でのものごとを解決するだけでなく、ルール構築に携わることによって社会に貢献したいと考えたからです。国家公務員はいわば「国民全員をお客さん」とすることができ、大人数を対象として中長期的に大きな仕事ができる点も魅力でした。

なぜ財務局をえらびましたか

財務局職員の方の雰囲気、多様なフィールドで働ける点に魅かれ、志望しました。

「国民に資金がまわる社会」の実現のために金融を軸に就活をしていましたが、官庁訪問で財政など多方面からのアプローチについて教えていただきました。

就活の振り返り

① 成功談

民間企業の就活を視野に入れた点です。民間の説明会やインターンに参加したので民間と公務員の違いを肌で感じられました。公務員の志望動機を再確認できましたし、選考を公務員1本に絞るという決断のきっかけになりました。

② 失敗談

現実的な計画を立てられなかった点です。就活のスケジュールと勉強のスケジュールを別々で立ててしまい、勉強が予定通りに進みませんでした。そのため1、2次試験とも直前に切羽詰ってしまいました。

年間スケジュール

(3年) 4月	勉強開始	12月	憲民行1周
5月	インターン応募	1月	選択科目開始
6月	専門科目勉強	2月	憲民行復習
7月	〃	3月	択一&論述
8月	インターン	(4年) 4月	択一勉強に専念
9月	インターン	5月	国総2次
10月	説明会	6月	国般の勉強
11月	筆記勉強	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

内定者パンフレットをご覧いただきありがとうございます。就職活動のゴールが見えず、不安に感じる事が少なからずあると思います。全ての筆記試験を受け終えたけれど、どの試験結果もわからないという時期がわたしにはありました。その期間、「どこからも合格・内定がもらえなかったら…」と不安で、何も手につかず、時間を無駄にしていました。

この反省から、みなさんには最後まで全力で走り切ってほしいです。模索しながらでも進むことで道が開けますし、最後まで諦めなかった人の努力は必ず報われると思います。

PROFILE 10



【性別】 男
【年齢】 22歳
【出身】 神奈川県
【大学】 一橋大学
【学部】 法学部
【ゼミ】 国際関係論
【趣味】 カラオケ
【併願状況】
・ 民間企業（コンサル・金融）
【試験区分】 大卒・教養
【説明会の参加回数】 0回

自己アピール

「目の前の目標に対して粘り強く努力できること」と「相手への傾聴力・共感力」が強みです。これらの強みは学生時代所属していた英語ディベート部での活動やキャラクターショップでのアルバイトで醸成され発揮されました。

学生時代の過ごし方

英語ディベート部での活動がメインでした。国内外の大会参加や部内レクの企画などを通して幅広い視野を得ることができました。海外留学（スイス）が中止になってしまったのが心残りですが、準備にかけた時間は自分の糧になっていると信じ仕事に向き合っていきたいです。

座右の銘

情けは人の為ならず

人事からのひとこと

- ・ 礼儀正しく丁寧な振る舞いがしっかりと身につけていて、第一印象から好感が持てました。
- ・ 面接では、質問に対して論理的かつ分かりやすく回答することができており、地頭の良さや思考の深さを感じました。

志望動機

なぜ公務員をえらびましたか

留学などの経験から日本の魅力を国際的に発信していきたいと考えた一方で、人口減少・経済停滞の国内社会に漂う暗い空気を自分たちで打破しなければ、将来世代が自国を誇ることができなくなるのではないかという危機感を感じたことがきっかけです。

なぜ財務局をえらびましたか

中央・地方・海外と、幅広いフィールドでの経験を相互に活かしながら働くことができるという点が、上で述べた自分の問題意識を解決する上で大切であると考えたからです。また、他にはない現場との近さも課題を解決する上での魅力の一つであると感じました。

就活の振り返り

① 成功談

国家公務員だけでなく、様々な業種の民間企業を受けることで、国家公務員としてしかできないことや志望動機が明確になった状態で官庁訪問に臨むことができました。

② 失敗談

オンライン面接が苦手最後まで克服できませんでした。どこを見て話せばいいか、話すトーンや仕草、背景などはオンライン独特の準備が必要だったが、友人に頼らず一人で対策していたため結局最後まで正解が分からなかったです…

年間スケジュール

(3年) 4月	特になし	12月	合格発表
5月	勉強開始	1月	大学の試験
6月	勉強	2月	民間就活
7月	〃	3月	〃
8月	省庁インターン	(4年) 4月	〃
9月	勉強	5月	〃
10月	教養区分	6月	官庁訪問対策
11月	〃	7月	内々定

財務局を受ける方へメッセージ

本パンフレットを読んでもらっている方の中には、初めて財務省財務局の存在を知ってくださった方も多いと思います。自分も官庁訪問でお話を伺うまで当局について全く詳しくなかったのですが、官庁訪問を通して財務局の魅力に気が付き入省を決めました。

就活は必ずしもすべてがうまくいくわけではなく、苦しい思いをされている方もいるかと思われます。そんなときにこそ自分が成し遂げたいことを大切にしてほしいです。国内外幅広いフィールドで活躍できる財務局に入る人の初心は様々であり、広く門戸が開かれた就職先だと思います！

03 試験対策編

ある内定者に聞いた！

(1) 全体戦略 ～就活編～

就活開始（3年5月頃）

- 自己分析
- インターンや説明会に参加（最初は業界を限定せずに広く見ると様々な視点を得られる）
- 新聞を購読

志望先が固まり始める（3年8月頃）

- なぜ〇〇の業界がいいのか、なぜ▲▲ではないのかななどを深く突き詰める
- 公務員1本に絞ったとしても、面接練習と社会勉強にはなるので、民間の就活は続けることをお勧めする。

省庁の説明会や政策勉強会の激化（3年夏休み頃から）

- 受験予定先の理解
- 同期の雰囲気を感じる（一緒に働くことになる人が自身に合っているかも、長いキャリアを考える上では大事）
- 自分が志望省庁の中ではどのような枠なのかを意識（自分は天才枠なのか努力家枠か体力枠か変人枠か...etc.）

国家公務員試験（4年5・6月）

- 各区分（特に専門区分）においても完璧を求めずに、合格さえすればいいと割り切る。
- 模試の点数が悪くても諦めず、勉強時間の傾斜配分をしっかりと考えるのが大事。

官庁訪問（4年6・7月）

- 徹底的に自己分析を深掘りしなおす。
- 自身の枠を意識する
- 就活の時に聞いてきた職員の話振り返る

ある内定者に聞いた！

(2) 全体戦略 ～試験対策編～

勉強開始（3年8月頃）

- 予備校に行き、受験情報や併願の仕方を考え、勉強を始める
- 英語対策と並行して、TOEIC対策を開始。730点以上で25点の加点を狙う
- 公務員以外の説明会にも広く参加していた。

2か月経過（3年10月頃）

- 最重要科目の基礎部分を一周終わる
- 毎日数題ペースで進めていた数的処理も得意、苦手な範囲が分かってくる。
- ここから大学の授業が再開し、ペースが落ち気味になりやすい。特に民間就活と並行している場合は、しっかり計画を立てて時間を確保することを勧める。

模試（例年2・3月頃）

- 択一模試を受けて、試験までの2か月の過ごし方を考えるとよい。教養科目、専門科目ともにどの科目で何点追加で取るかを考え、合格を見据え絞った勉強を開始した。
- 一方で記述試験を見据える必要がある科目を学習・復習するときは、時間をかけて理解に努めることを優先した。

国家公務員試験（4年5・6月）

- 各模試や科目別の過去問演習を繰り返して、科目ごとに安定してとれる点を増やしていく。択一試験では選択肢も活用できるので、なるべく広く学習することを優先した。
- 地方公務員試験も始まってくるので、択一試験の自己採点を踏まえてどのくらいリソースを割けるか、よく考えた。面接試験対策も、官庁訪問につながるので重視した。

官庁訪問（4年6・7月）

- 自己分析を何度も繰り返し、自分に関する質問はいかなる質問にも即答できるように準備した。
- 特に自信をもって自分の強みをアピールできるようにした。
- 説明会や訪問期間中の職員の話をしっかり把握するようにした。

(3) 区分別試験対策

▶ 基礎能力試験（全区分共通）

一次試験 知能分野	文章理解	消去法でなるべく短時間で解くこと。なるべく早く過去問に触れて、対策する必要があるか検討すると良い。
	数的処理 判断推理 資料解釈	とにかく演習を繰り返した。初見の問題に対応できるように、同じ問題でも繰り返し解くことで考え方を身に着けた。毎日過去問を数題ずつ、隙間を見つけて解くと、専門科目対策と並行しやすい。
一次試験 知識分野	人文科学 自然科学 社会科学	最低限の時間で点数につなげるため、頻出分野や得意分野に絞って対策した。目標点数に届くように暗記する。
	時事	出題されそうなポイントを意識しながら参考書を読んだり、新聞等で日頃から情報を集めておく。

▶ 大卒法律区分

一次試験	憲法択一	問題数は少ないが行政法につながる部分があり、重要である。テキストや過去問を数周し、統治部分についてはほぼ条文まま出題されることがあるので、しっかり暗記した。
	民法択一	勉強法は憲法と同じだが、改正部分を重点的に抑えた。
	行政法択一	勉強法は憲法と同じ。行政手続法、行政訴訟法などのメイン部分だけでなく、公共物などのようなサブ知識も必要になる。
	サブ科目択一 (刑法・商法・労働法・国際法etc.)	筆者は保険をかけて以下の4科目を勉強した。 ①刑法 犯罪の構成要件と有名な判例を覚える。各論ではややこしいところも違いを理解するように対策した。 ②労働法 テキストを丸暗記。得点源になりやすい。 ③商法 テキストの暗記と過去問演習をした。試験科目になってからあまり年数が経っていないため過去問が少なく、大学等で会社法を学んでいない人にはお勧めしない。 ④財政学 情報、数字をまとめて覚える。様々な予算額等をメモに整理した。
二次試験	専門記述	まず論点が分からないと書くことがなくなり、点数が入らないので基本の論点をおさえる必要がある。必要以上に記述するよりも、論点や構成を考え、参考答案で確認するのが効率が良い。

反省&アドバイス

主要三教科は年末までに1周するのが目安。反省として、授業を見た後に全然問題演習をしなかったために3、4月に総復習をすることになってしまったので、学んだらすぐに過去問を解くこと。最終的には過去問の問題は全問正解できるレベルまで到達した。

ミクロ経済学・マクロ経済学以外はほぼすべて覚えることになるので、定期的に見直し、過去問を何回も解くと良い。また、判例がなぜその結論になったのか、説明できるようによく理解すべき。

法律区分は倍率が高く、高い点数を取らないといけませんが、教養があまりできなくても専門ができれば十分合格できる。また暗記は時間をかければ誰でもできるので、専門に力を入れてみるのもいいと思う。繰り返しになるが、過去問をたくさん解き、正誤判定だけでなく、なぜ違うのかを毎回行うと知識が定着すると思う。

▶ 大卒経済区分

一次試験	経済理論択一	配点が多いだけでなく、他の科目を考える際にも基礎となる科目なので特に力を入れた。学習と問題演習を中心に行い、計算方法をなぞるだけでなく記述解答を同時に作ると、内容理解と記述対策も並行して行える。
	財政学 経済政策	基本的な勉強方法は経済理論とあまり変わらない。制度の部分は特徴的な数値に着目して大まかに覚えた。解いたことのある模試を繰り返し復習するとよい。
	経済事情	内閣府発行の白書を読み要点を整理しておく。予備校のテキストや、模試で出題された範囲の関連テーマを抑えるとよい。
	統計学 計量経済学	出題されやすい論点のはっきりしているので、絞って学習する。数学の得意苦手に応じて目標点を決め、時間をかけすぎないようにした。
	サブ科目択一 (経済史・経済事情・国際経済学・経営学)	範囲こそ広いものの、経済史や経営学は暗記するだけで十分得点源になる。必須科目を優先しつつ、隙間時間でできるところを増やすのもおすすめ。
二次試験	専門記述	択一の知識があれば取り組める問題が多いが、どうしてその計算になるのか、どうしてその条件式を用いるのか、過程を説明する力が求められる。公共政策はテーマが様々な分野から出題されているので、新聞やニュースで幅広い分野の情報を得ながら経済学を用いて考察することが対策になる。

▶ 大卒教養区分

一次試験	基礎能力Ⅰ部	数的処理の過去問演習を中心にした。自力でじっくり解いて考え方を身につける。問題の取舍選択に気を付けつつ、目標点に届くように勉強した。
	基礎能力Ⅱ部	一般に言われている「捨て科目」を作るかどうかは人によると思う。筆者は特に作らずに初学の教科も含め広く浅く点を取る作戦で行った。年によってどのジャンルが難しいかは異なるのでこの作戦は割と有効だったと思う。
	総合論文	試験全体の中での配分が大きいいためしっかりと対策すべき。文章全体を書くことが大変なので、過去問演習では構成段階まで考えた。字下げ・段落分けなどルールをしっかりと確認しておくこと。
二次試験	企画提案	白書を読み込み、予想問題を考えて模範解答を考えるのはもちろん、友人や先輩に添削してもらったり予想問題を共有したりすると効果的である。
	政策討議	大学や予備校といったコミュニティでの対策をした。一人でできることとしては本番と同じ20分でお題に対する意見表明の紙をきれいに書く練習を重ねるとよい。
	人物試験	各項目について何を聞かれても柔軟に対応できるようにしておく必要がある。自己分析を徹底することや、他人との対策が効果的である。

▶ 院卒行政区分

一次試験	基礎能力	過去問集を用いて、隙間時間をうまく利用して対策した。範囲が広いため、点が取れる科目で落とさないように、かつ効率的に勉強する。
	専門択一	基本は大卒各区分と同じ。予備校のテキストや過去問を用いて演習した。
二次試験	専門記述	択一の知識を書けるレベルまで理解すること。また、記述の対策が択一に役立つこともあるので、並行して学習する。
	政策課題討論	事前に流れを確認しておき、短時間でレジュメを作成する練習をした。また、自分の意見を論理だてて話せるようにしておくことよい。
	人物試験	友人に自分自身について聞くなどして、ESをブラッシュアップしていた。また、民間就活などで面接に慣れておくと、経験を活かせる。

(4) 独学 vs 予備校

独学のメリット

- ・ 何よりお金があまりかからない
(数千円～数万円程度)
- ・ 全て自分のペースで勉強できる。
- ・ 予備校に頼ることができないが、その分自己分析をしっかりとするので、自身の学力を客観的に見つめられて、すべき勉強としなくていいことがわかりやすいので、時間の節約ができる。

独学のデメリット

- ・ ペースメーカーが2、3月の模試しかなく、モチベーションの維持が難しい。
→ 過去問をたまに解くなどして自分の立ち位置を把握し続ける。
入省後の自分を妄想する。
- ・ 理解できないところがあっても、すぐに解決できないためにストレスが溜まる。
→ 特に下宿生は家族のサポートを受けにくいので、信頼のおける人を見つけるべき。就活は思ったよりも精神的にきつい時がある。
- ・ 国家総合職の、特に専門教科の論文問題集は市販ではほとんどないため、情報収集・問題演習の段階でハンデを背負うことになる。

予備校のメリット

- ・予備校の講義のペースや面接対策等、予備校が蓄積した様々な情報にアクセスし、利用することができる。
- ・録音講義を利用して、自分で勉強時間や学習したい範囲をある程度自由に決められる。（録音講義は配信開始日まで待つ必要があるものも）
- ・テキスト、参考書を自力で調達する必要がほとんどない。特に時事系の科目に関しても要点を整理したテキストが発行される。
- ・そのほかにも、対人での面接対策や官庁訪問対策、講義の配信日が勉強ペースの目安になる、いつでもスケジュールを相談できる等。

予備校のデメリット

- ・お金がかかる。（20～40万円程度）また、最初にお金を払っているため、その後の方向転換がしづらい。
 - 諦めた・合格できなかった時の負担は予備校の方が大きい。上記のメリットが必要かどうか、講義を受けるための環境や時間、対面で講義を受けたい人は通学時間を確保できるか、併願で極力負担を減らしたい等、しっかり考えて利用する。
- ・気に入らない講義が出てきてしまう。
 - 講義を受けるかは完全に自由なので、自分にとって最大効率になるように選択すると割り切る。レジュメや板書資料だけ利用することもできる。

04 官庁訪問対策編

官庁訪問とは

国家公務員総合職として採用されるため、二次試験に合格した後は「官庁訪問」という過程に進みます。人事院が定めたルールに則り、受験者は志望する省庁を期間内に訪問し、各省庁の選考過程に進みます。官庁訪問は、各省庁の採用プロセスであると同時に、各省庁と受験者とのマッチングの場でもあります。現役職員の方々のお話を聞いたり、省庁への熱意をぶついたりしながら、自分はどの省庁をなぜ志望するのかを明確にし、自分の成し遂げたいことを伝えましょう。

ある1日の流れ

9：00 待合室集合

(第1クールはオンラインで実施された)

受付名簿に名前を書いて、入口面接が始まるまで待機。他の受験者との情報交換や面接カードの確認などをして時間を過ごします。

9：15 入口面接

人事の方との雑談を交えながら、他省庁の訪問状況や、原課面接ではどのような話を聞きたいかなどの質問があります。

10：00～12：00 原課面接①

面接する職員の方が待合室まで迎えに来てくれます。順番やタイミングはそれぞれ異なるので、呼ばれるまで面接の準備やパンフを見ながら待機します。

12：00～13：00 昼食

食堂かコンビニで昼食を取ります。軽食を買う方もいましたが、今年度は夕方に小休憩があったので、その時間でコンビニに行く方もいました。

13：00～15：30 原課面接②

面接カードの項目を軸としながら、多様な切り口で質問されます。難しい質問をされることもあると思いますが、自信をもって自分の意見を伝えましょう。

15：30～19：30 原課面接③

入口面接で希望した分野の職員や、海外、他省庁へ出向したキャリアを持った職員から話を聞く機会があります。様々なキャリアを持つ職員との話の中で、財務省財務局への理解を深めていきましょう。

20：00～21：00 出口面接

面接の感想、財務局などの質問のほか、その日の評価も告げられます。指摘された修正点を踏まえて、次の訪問に生かしましょう。

Aさんの場合

【第1クール】

財務省財務局→会計検査院→休み

【第2クール】

財務省財務局→会計検査院→休み

【第3クール以降】

財務省財務局

【コメント】

「1つの分野にとらわれず大きな危機の解決に貢献したい」という軸を持っていました。

Bさんの場合

【第1クール】

金融庁→財務省財務局→人事院

【第2クール】

金融庁→財務省財務局→人事院

【第3クール以降】

財務省財務局

【コメント】

興味のある分野（財政・金融）と職員さんの雰囲気重視しました！

Cさんの場合

【第1クール】

財務省本省→金融庁→休み

【第2クール】

財務省本省→金融庁→休み

【第3クール】

財務省本省→財務省財務局

【第4クール以降】

財務省財務局

【コメント】

企業活動や日々の暮らしの土台である経済や財政に関わることを軸に決めました。

(1) 面接対策

印象に残った質問

- ・興味のある分野と財務局の仕事とのつながりは何か
 - ⇒財務局の志望動機にも関連してくる質問です。志望動機を深めるためにも考えてみてください。
- ・どんな日本にしたいか
 - ⇒国家公務員として働くにあたり考えることになると思います。自分の思いを素直に伝えてみてください。
- ・訪問先の軸は何か
 - ⇒自分が訪問している省庁についてはどうしてそこを訪問しているのか説明できるようにしておきましょう。
- ・国家公務員総合職に求められる能力は何か
 - ⇒難しい質問だと思いますが、ぜひ考えてみてください。

聞いてよかった逆質問

- ・現在取り組んでいる業務について
 - ⇒内定者の大半が質問していました。将来こういった業務に携わることになるのかイメージを持てるようになると思います。
- ・地方の財務局での勤務について
 - ⇒財務局総合職の特徴は地方の財務局での勤務があることです。地方で働くことへの不安がある方は、ぜひ聞いてみてください。
- ・財務局総合職の役割について
 - ⇒パンフレットやHPでも触れられていることですが、遠慮せずに聞いてみてください。実際に働いている職員の方に聞くことで、自分の中でより具体化できると思います。
- ・働き方について
 - ⇒中央省庁で働くにあたり不安がある方も多いと思います。入省後にギャップがないように職員の方に聞いてみてください。

アドバイス ～準備編～

- ・第1志望以外の準備も早め
にしておく
- ・他官庁だけでなく県庁や一
般職との併願では日程が早
いので特に注意
- ・説明会に参加して損はない
- ・志望動機は自問自答を繰り
返しながら深掘しておく
- ・20～30分前には到着してお
いた方がよい

アドバイス ～受け答え編～

- ・コロナ禍でマスクが外せない
ためよりはっきりとした応答
や表情が求められる
- ・メモは積極的にとる
- ・難しい・予想外・専門外の質
問が来たら
 - ①頭の中を整理しながら自分
の考えを伝える姿勢
 - ②分からない場合は素直に認
めその場で勉強する姿勢
を見せる

失敗談

- ・Web面接中にネット環境が乱れてしまい面接ができなかった
- ・長丁場だったため前日にもう少し寝ておけばよかった
- ・ATMを探すのに深夜に一時間ほど歩き回った
- ・電車が止まり焦った。タクシーを使う可能性などを考えておくべき

(2) Q&A

官庁訪問対策は何をしていましたか？

- ・深い知識は必要ありませんが、大まかな政策は調べていました。
- ・出席した説明会のメモを見直していました。
- ・友人と繰り返し面接の練習、政策の勉強会を行っていました。
- ・政策とその組織がどのような役割を担っているのか把握し、自分の経験や強みを社会人としてその組織でどう活かすか、どんなことをしたいのか考えていました。

持ち物は何を持っていったほうがいいですか。

- ・待ち時間が長いので、ノートなどを持っていくことをおすすめします。
- ・クールビズでもジャケットは持っていきましょう。
- ・精神的にも体力的にもハードなのでエネルギー源は必要です。私は間食を用意していました。

官庁訪問では何を意識していましたか？

- ・一貫した論理、(分からなくても)自分の考えを言う、目を見る、ハキハキ話すことを意識していました。
- ・職員の方から学ぶ姿勢を持ち続けることを意識していました。
- ・常に話の要点を確認し、拙くても良いから自分の考えや意見を持ちながら聞くことを心がけていました。

併願先を伝える際に注意したことは何ですか。

- ・他と比較したときにどうなのかを言えるようにしていました。
- ・何故そこと併願なのか理由を明確に説明できるようにしていました。
- ・第2志望以下の官庁には迷っているような態度で臨み、第1志望ではないということを悟られないように心がけました。

学生時代にやっておいた方がいいことは何ですか。

- ・ 全力で学生生活を送る。何か一つ一生懸命取り組んだと誇れるものをつくとよいです。
- ・ 面接のためにやるのではなく、本当に自分がしたいことを全力でやるといいと思います。
- ・ 無理に他分野を勉強せず、自分に合ったことをするようにしていました。

地方から官庁訪問に参加する場合の注意点はありますか？

- ・ 長期滞在になるので、交通の便と居心地がよいホテルに宿泊した方がよいです。
- ・ 霞が関に近いところにホテルを取る。そして可能ならば、前々日から東京入りして慣れるとよいと思います。
- ・ 徒歩圏内(2 km程度?)のホテルに宿泊するとよいです。私は気分転換のため週ごとにホテルを変えていました。

地方でもできる官庁訪問対策として行っていたことは何ですか。

- ・ 東京に比べ情報が少ないので、情報を得られる機会を逃さず貪欲に行動していました。
- ・ オンラインより踏み込んだ話が聞ける、上京するだけで熱意が伝わる、地方にいただけでは得られない優秀な学生とのつながりを構築できることから、東京で開催される対面の説明会に積極的に参加していました。
- ・ オンラインでの説明会も増えているので、積極的に参加するようにしていました。

官庁訪問中の休日は何をしていましたか？

- ・ それまでの官庁訪問で出た自分自身の受け答えの振り返り。知識が足りなければ補充をしていました。
- ・ あまり面接のことを考えすぎず、体調を整えていました。
- ・ クリーニング店に行く、ホテルを移動する、バッテリーセンターでひたすら体を動かす等をしていました。

05 最後に

編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

就職活動は不安になることも多いと思いますが、その中でも皆さんは自分と向き合い日々悩みながら頑張っておられると思います。このパンフレットがこれからの公務員試験や官庁訪問の参考になれば幸いです。また、皆さんが財務省財務局総合職に興味を持ち、働きたいと思って下されば、とても嬉しく思います。皆さんが前向きに自分を信じて、就職活動ができるよう応援しています。

この度のパンフレット作成にあたり、人事の皆様をはじめ数多くの方々のご支援、ご協力を賜りました。この場を借りて心から御礼申し上げます。

令和4年度財務省財務局総合職内定者一同

【注意事項】

この冊子の文責は、令和4年度財務省財務局総合職内定者にあります。よって本パンフレットの内容は、内定者の個人的見解によるものであることにご留意ください。

また、本名は掲載されておりませんが、個人を特定できる情報が含まれています。そのため、取り扱いには十分にご注意いただき、無断での複写・複製・転載等なさないようお願い致します。